

<屈折検査について>

- 遠視・近視・乱視の度数を調べる検査です。
視力の発達を妨げる原因を見つけ、早期治療につなげることが期待できます。
- 検査機器は、スポットビジョンスクリーナー（SVS）を使用します。
- 検査場所は、うす暗い部屋で実施します。
- 検査方法は、約 1m離れた位置からお子さんに機器を向け、機器画面の光を見ている間に検査を実施します。
- 検査時間は、数十秒と短く、小さなお子さんでも安心して検査ができます。
- 弱視や斜視等で眼科治療中の方、光刺激でてんかんなどの発作が誘発される恐れのある方はお申し出ください。
※機器での測定にはある程度誤差や限界があることをご理解ください。

検査の様子



(出典 イラスト転載)

公益社団法人 日本眼科医会「3歳児健診における視覚検査マニュアル」令和3年7月